

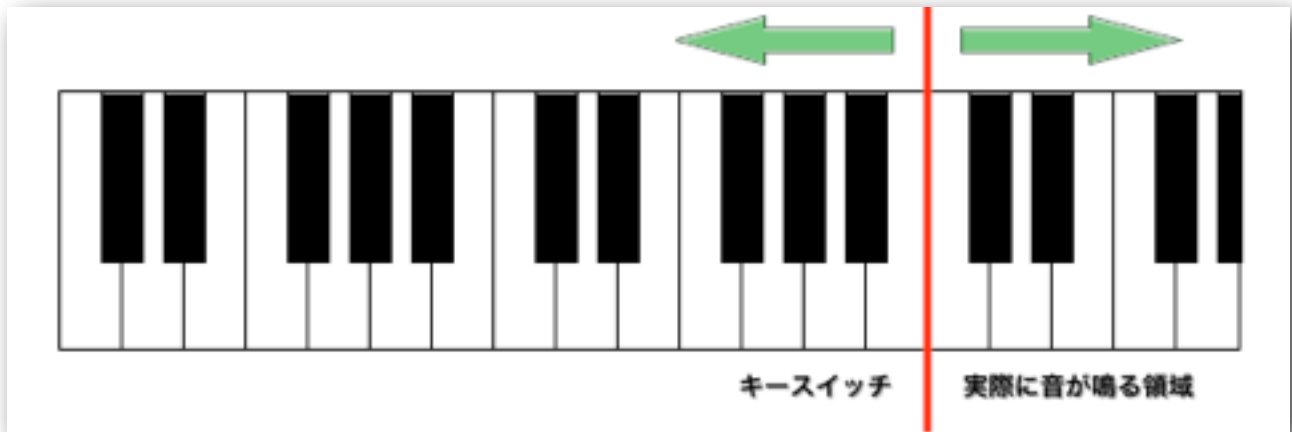
Vintage Humbucker Guitar V1
for Kontakt
ユーザーズ・マニュアル

Vintage Humbucker Guitarの構成

Vintage Humbucker Guitarは、モノモード、ポリフォニックモード、コードモードの
三つから構成されています。

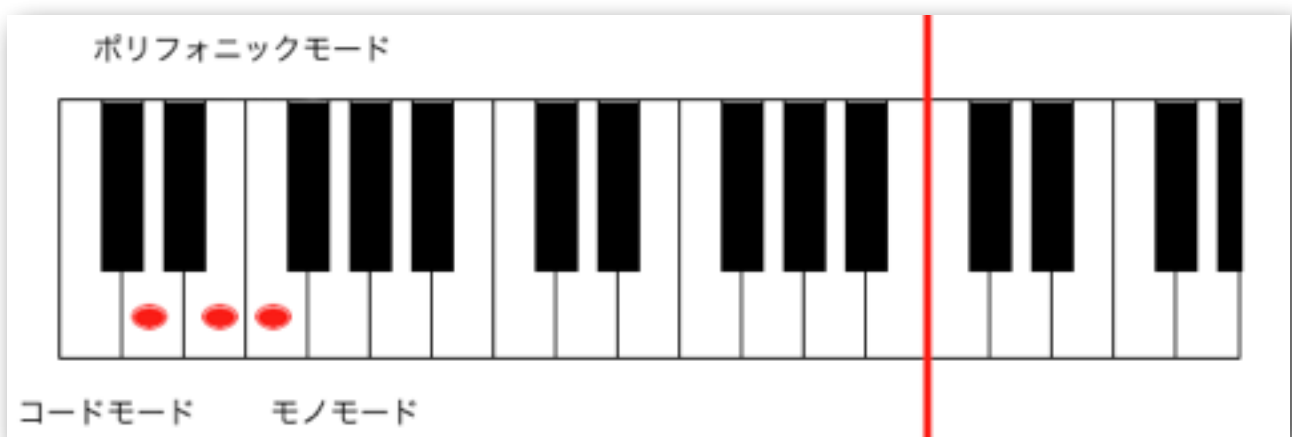
キースイッチの領域

図のように、ノートナンバー35(B0)以下がキースイッチの領域で、ノートナンバー36(C1)以上がノートオンにより実際に音が出る領域になっています。



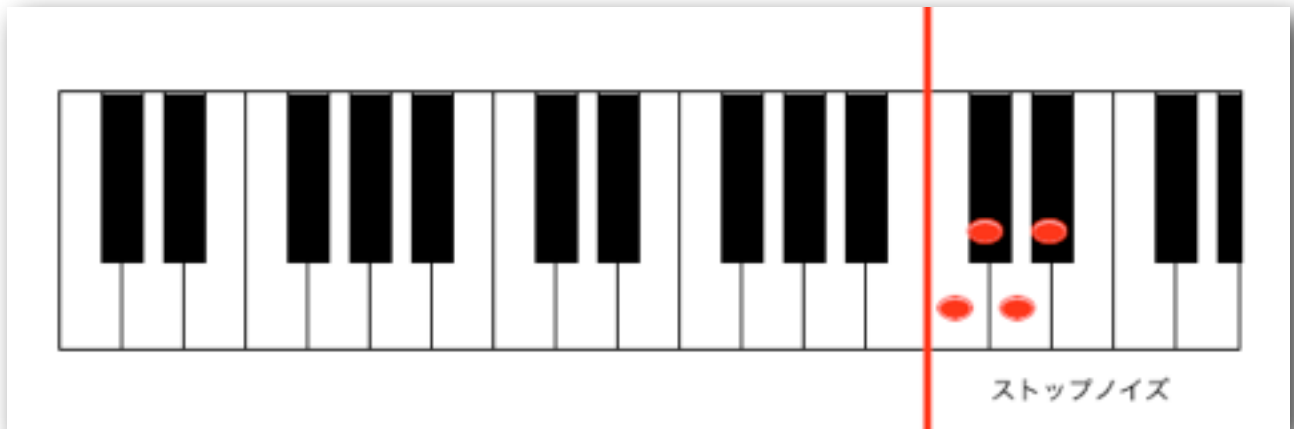
モードの選択

ノートナンバー17(F-1)により、モノモードに切り替わります。
また、ノートナンバー16(E-1)がポリフォニックモード、
ノートナンバー14(D-1)がコードモードです。



ストップノイズ

ストップノイズは、音を止めるときのノイズ音です。モノモードや、コードモードでは、ノートオフではなく、ストップノイズによって音が止まるようになっています。また、ノートナンバー36(C1)と38(D1)は、リリース時に指と弦が擦れる音が鳴るようになっています。ノートナンバー37(C#1)と39(D#1)では、リリース時にそのような音はなりません。時と場合により、使い分けてください。



また、CC16で、ストップノイズのサウンドが切り替わります。値が低い方が低音弦のストップノイズになり、値が高い方が高音弦のストップノイズになります。

ストロークモード

ノートナンバー7(G-2)で、自動オルタネイトモードになります。このモードが選択されている場合、ダウンストロークとアップストロークは自動切り替えになります。

ポリフォニックモードでは、同時に押した鍵盤のノートは、全て同じストロークになります。

短時間の間隔で押した鍵盤のノートは、ダウンとアップの交互になります。一定の時間の間隔を置いて押した鍵盤のノートは、ダウンストロークになります。

ノートナンバー8(G#-2)で、常にダウンストロークになります。

ノートナンバー9(A-2)で、常にアップストロークになります。

モノモードについて

モノモードは、最大同時発音数が1のモードです。

ノートオフでは音が止まりません。ストップノイズにより音が止まります。

モノモードのキースイッチは以下のようになっています。

ノートナンバー	
18(F#-1)	FX (CC1(0-64) でスライドダウン とスライドアップ、 CC1(65-127)でピックスクラッチ)
19(G-1)	オクターブ奏法 (レガート演奏による自動スライド機能)
20(G#-1)	5thミュート奏法
21(A-1)	5th (レガート演奏による自動スライド機能) (6半音以上のレガートの場合、CC5で速度切替)
22(A#-1)	4thミュート奏法
23(B-1)	4th (レガート演奏による自動スライド機能)
24(C0)	シングルノート (レガート演奏による自動ハンマリング&プリング機能)
25(C#0)	シングルノート (レガート演奏による自動スライド機能) (6半音以上のレガートの場合、CC5で速度切替)
26(D0)	シングルミュート奏法 (ハード)
27(D#0)	シングルミュート奏法 (ソフト)
28(E0)	ブラッシング
29(F0)	チョップ奏法
30(F#0)	ピッキングハーモニクス
31(G0)	ナチュラルハーモニクス
32(G#0)	クォーターチョーキング
33(A0)	ユニゾンチョーキング
34(A#0)	トリル (CC16で速度切り替え) (CC17で半音・全音切り替え)
35(B0)	トレモロ (CC16で速度切り替え)

また、モノモードでは、ノートナンバー5(F-2)を押しながら、ノートオフをすることで、自動的にスライドダウンになります。

ポリフォニックモードについて

ポリフォニックモードは、ノートオフにより音が止まります。また、自動でのハンマリングやスライドの機能はありません。最大同時発音数は6になっています。

ポリフォニックモードのキースイッチは以下のようになっています。

ノートナンバー	
10(A#-2)	スライドアップ (CC16でスライド長切り替え)
11(B-2)	スライドダウン (CC16でスライド長切り替え)
12(C-1)	ハンマリング
13(C#-1)	プリング
24&25(C0&C#0)	シングルノート
26(D0)	シングルミュート奏法 (ハード)
27(D#0)	シングルミュート奏法 (ソフト)
28(E0)	ブラッシング
29(F0)	チョップ奏法
30(F#0)	ピッキングハーモニクス
31(G0)	ナチュラルハーモニクス
32(G#0)	クォーターチョーキング
33(A0)	ユニゾンチョーキング
34(A#0)	トリル (CC16で速度切り替え) (CC17で半音・全音切り替え)
35(B0)	トレモロ (CC16で速度切り替え)

コードモードについて

コードモードではコードストロークを簡単に再現できます。

ノートナンバー	
24(C0)	メジャー
26(D0)	ブラッシング
27(D#0)	マイナー
29(F0)	sus4
34(A#0)	7th

CC16で、ストローク速度を二段階で切り替えられます。

ピッチベンドについて

ピッチベンドだけでなく、CC12でも、ピッチを操作することができるようになっています。

モジュレーションについて

CC1で、ビブラートがかかります。